キャラクター名: 禪院甚爾

プレイヤー名:

シンドローム	ブラックドッグ ウロボロス	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男性
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	53 %
出自	名家の生まれ	経験	大きな転機	邂逅	お船

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0		5	9
感覚	2	0	0		5	7
精神	3	0	0		5	8
社会	0	0	0		5	5

HP	46
行動値	22
(非装備時)	22
戦闘移動	27
全力移動	54

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6	22	射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
幅広の刀（大槌互換）	白兵	9r+25	2	12		全力移動-10m。両手持ち。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ラフな普段着	
収納用EXレネゲイド（ウェポンケース）	
スマホ	
財布	
コネ：情報屋	
思い出の品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
複製体	P	N		
天与呪縛	P	N		
ギャンブル	P 傾倒	N 憤懣		
百貴船太郎	P 腐れ縁	N 腐れ縁		
お船	P 信頼	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	14	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
武芸の達人	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：取得時に〈白兵〉か〈射撃〉のどちらかを選択すること。選択した技能の達成値を＋［LVX3］する。この効果はあなたがバッドステータスの暴走を受けている間は適用されない。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。このエフェクトを取得した場合、侵蝕率基本値を+4する。								
ハードワイヤード	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：あなたはブラックドッグ専用アイテム（P136）からLV個選択し、常備化できる。GMが許可すれば、プリプレイで選択し直せる。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。このエフェクトを取得した場合、侵蝕率基本値を+4する。								
R・ウロボロス	3	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果：	C値-LV（下限7）。							
原初の緑：切り払い	1	1+1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果：	このエフェクトを組み合わせた判定で、あなたはドッジを行える。							
C・ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-LV（下限7）。							
原初の赤：風鳴りの爪	1	2+1	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	ダメージロールのダイスをLV個まで選んで振り直しができる。							
混色の氾濫	1	2	メジャー	-	範囲（選択）	-	-	
効果：《原初の●》で取得した「対象：自身」以外のエフェクトと組み合わせて使用する。このエフェクトと組み合わせたエフェクトの対象を範囲（選択）に変更する。このエフェクトは1シナリオにLV回まで使用できる。								
イージーフェイカー：軽功	★							
効果：								
超人的代謝	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

・概要

近年になり世界中に広がったレネゲイド。しかし、僅かではあるが日本でもそれらは古来より存在していた。そして、現代よりもジャーム化する人間は多かったとされている。

それは何故なのか、憶測ではあるが理由はこう記されている……鎌倉武士みてぇな奴らが跋扈してた昔の日本で、理性や絆でジャーム化を抑えられるわけがないだろ！

そんな中で、ジャームとなった者たちを討つ為の存在もまた必然的に現れたのである。鎌倉武士の精神性を持ったジャームとか放置するのも怖すぎるもんね。

かつての日本では、ジャームとなったものを呪霊と呼び、それを討伐するオーヴァードを呪術師と呼んだ。それは妥当な呼び名であっただろう、なにせ手柄首として人殺すのを至上目的としたジャームである。そんなもん呪いそのものだよ。

そんなおっそろしい呪霊の群れを討伐しようなんて狂った輩である呪術師たちもまた、普通ではないことは確かだろう。普通じゃないからそんなおかしな環境で、理性的に振舞えるんだもんね。狂ってる方が理性的っておかしいなぁ。

だからこそ、呪術師として強くあり続けることを目的として代々継がれてきた家は、現代においても狂っているのも当然のことと言えた。

その中でも、呪術界御三家と呼ばれる名家（そんなもん名家って呼ぶな）の一つである禪院家に生まれたのが、この禪院甚爾である。

「才能と力を尊ぶ統制された戦闘一族」、「禪院家に非ずんば呪術師に非ず
呪術師に非ずんば人に非ず」、この家は極まった呪術師たちの中でも更に尖った思想を持った端的に言えば気狂いの巣窟であった。

そんな中で、かつて存在した歴代当主の中でも最も強かったと目される人物の細胞を利用して生み出されたという、更に狂った経緯もあり、甚爾は一族から期待されていた。

そして、その高すぎた期待は、同時に激しい落胆へと転じた。

現在ではウロボロスシンドロームとして認知されだした影の操作。かつて禪院家にもウロボロスシンドロームを持っていたと考えられている当主が存在し、まさにそれが歴代最強の呪術師であった。その細胞を利用した実質の複製として現当主の妻の胎を借り生まれた甚爾はしかし、影の操作どころか体外でのエフェクトの発露すら見せなかった。

その代わりとでもいうかのように、生まれながらに圧倒的なまでの身体能力と戦いのセンスを有していた。しかし、呪術師として術式……つまりはオーヴァードとしてのわかりやすく強力なエフェクトを持っていると示せない限り、禪院家に居場所は存在しない。それでも少年期には自らの力を示し認めさせようと真面